

## ■ はじめに

委員長 河内 美代子

皆さん、こんにちは。お元気ですか？

「らくだ」も今回で通算83号となり、随分歴史ができたものだと改めて感心しています。これも委員会活動を支えてくださっている一人一人、そしてとりわけ編集を担当していただいている宇佐美さん、事務局のお蔭と感謝しております。ありがとうございます。

さて、今年も残すところあと僅かとなりました。この1年はブロック会議の開催、そしてブロック事業発表に向けた調査とブロック会議がらみでスタートし、終わろうとしています。いよいよ調査もまとめの段階に入ってますが、当初は正直どうなるかと不安でした。でもみんなの頑張りで何とか形がみえてきました。ほっとしています。担当の松村さん、本当にお疲れさまです。後少し、頑張りましょう。

それにしても皆さんのすごさに感心することしきりです。このパワーを持ってすれば、なんか何でもできそうに錯覚しそうなくらいです。無事終わったらみんなで打ち上げをしましょう。「はじめに」の挨拶らしくもない文となりましたが、皆さん、本当にお疲れさまの1年でした。

どうぞ良いお年をお迎えください。



(委員会の風景)

## ■ 今回の記事

■ 今後の予定・お知らせ

■ 「建物使い心地調査」中間報告

■ 第47回建築士会全国大会(和歌山)日程

■ 全国大会に参加して

■ 「気楽にらくだ会」の感想

■ 我が家のレシピ(新企画)

■ 編集後記



(委員会の風景)

## ■ 今後の予定・お知らせ

◆ 東海北陸ブロック会 女性建築士協議会

平成 16 年度 後期定期会議(愛知)

日時:平成 17 年 2 月 19 日・20 日

場所:(財)名古屋都市センター まちづくり広場

いよいよブロック事業の発表です。

◆ 建築士会臨時総会開催

日時:平成 17 年 2 月 24 日

場所:岐阜会館

## 女性委員会だより

### ■ 「建物使い心地調査」中間報告

平成 17 年 2 月 19 日 愛知県で開催される東海北陸ブロック会 女性建築士連絡協議会後期大会において岐阜県の事業発表を行います。

現在、調査資料のまとめ及び発表用の資料づくりを行っています。

現在までの活動中間報告を致します。

- H15. 12. 13 ふれあい会館（岐阜市）
- H15. 12. 18 牛牧コミュニティセンター（瑞穂市）
- OH16. 02. 28 グランベール岐山（岐阜市）
- OH16. 05. 30 わかくさ・プラザ（関市）
- H16. 06. 20 日本昭和村（美濃加茂市）
- H16. 07. 13 岐阜高校（岐阜市）
- OH16. 09. 11 アクア・トト（各務原市）
- H16. 09. 25 道の駅「志野・織部」（土岐市）
- OH16. 09. 25 加子母村コミュニティセンター（加子母村）
- OH16. 10. 21 大垣北高（大垣市）

以上 10 件の調査を行いました。

○印の施設を重点に発表します。

中でも「アクア・トト」は 100 名近くの方に調査協力を頂きうれしい悲鳴を上げることになりました。

調査のまとめ方等は委員会の中で検討し改善を重ね練り上げつつあります。

今回は 1 施設を取上げまとめの検討しながら下川さんにパワーポイントの講習もお願いしました。



### ■ 第47回建築士会全国大会(和歌山)日程

会場：和歌山ビッグホエール・和歌山ビッグ愛

日時：平成 16 年 10 月 21 日（木）・22 日（金）

21 日（木）

- ・ 全体開会式 12 : 30～
- ・ コラボレーションフォーラム 13 : 30～
  1. 「屋台紹介PART 1」
  2. 「クイズ知ってるつもり」
- ・ セッションA 14 : 00～
- ・ セッションのためのぶらくり丁見学会 14 : 00～
- ・ 記者会見
- ・ 理事・士会長合同会議 15 : 00～
- ・ 歓迎の夕べ 17 : 30～

22 日（金）

- ・ コラボレーションフォーラム
- 「屋台紹介PART 2」 9 : 00～
- 「全国青年建築志（士）の集い」 10 : 00～
- ・ セッションBCD 9 : 30～
- ・ 閉会式 12 : 00～
- ・ 大会式典 13 : 30～

両日通して

- ・ パネル展・和歌山県物産展
- 22 日（金）～24 日（日）
- ・ エキスカーション（県内各地視察見学）



## 女性委員会だより

### ■ 全国大会(和歌山)大会の報告

小林 教子

台風23号の去った青空の下、10月21・22日第47回和歌山大会が和歌山市のビッグホエールおよびビッグ愛で行われ、女性委員会から長瀬さんと小林が参加しました。

JR 在来線に若干の遅れが出てはいましたが、新幹線は平常どおり、JR 阪和線の遅れが幸いし、結果オーライで順調に正午頃和歌山駅に降り立ちました。和歌山についたからにはご当地のラーメンを食そうと駅前のお店に入り、その後シャトルバスを利用して会場へ着きました。

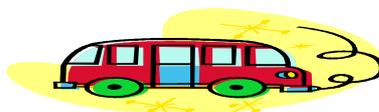
会場には紀州材で作られたゲートが来場者を迎えてくれ、偶然にも同じシャトルバスに乗り合わせた土本会長とともに記念(証拠?)写真を撮りました。受付を済ませた後、屋台村の店主と交流して CPD のポイントを稼ぎ、クイズ知ってるつもりは二人とも見事玉砕、参加することのみに意義を見出し、夜の歓迎の夕べに参加をしました。

2日目、午前はエキスカッションで養水園の見学と午後には式典への参加の予定でしたが、時間に余裕があったので、朝一番に和歌山城の見学をしてきました。宿泊のホテルが城の直近くであったので、徒歩で公園内を散策し9時の開城と同時に天守に上がり市内を一望し、集合場所のビッグホエールへ向かいました。時間が無くなり、城内にある紅葉溪庭園と紅松庵は断念しましたが、紅葉の時期にはきっとすばらしい庭園の景色が見られることでしょう。



岐阜からの他の参加者が車の都合で間に合わず、予定を5分遅れ出発し、和歌山城の内堀の外周をバスの車窓から眺め、一路養水園へ向かいました。養水園は10代藩主徳川治宝が造営した池泉回遊式庭園で、「和歌山観光協会語り部の会」の方のガイドで、中国の西湖を模したとされる石造りの三つ橋や海水を引いた池の周りを散策し、数奇屋造りの養水亭や茶室「實際庵」を見学しました。今現在は潮浜御殿を移築中で近々完成

予定です。現在この養水園は個人の所蔵で、広大な庭園の維持・管理はかなり大変そうでありました。多分見学者の靴跡防止のために植えられたのかと思いますが、芝が結構はびこっており、苔を覆ってしまうほどになっているところもあり違和感を覚えました。その後雑賀崎から和歌の浦を車窓から眺め、東照宮お旅所へのお成り道にかけられたアーチ型の石橋不老橋を見学し、玉津島神社を参拝してからビッグホエールへ戻ってきました。



昼食時にはやっと岐阜の他の方々にお会いすることが出来ました。昨日署名をした桧の板には追加の署名は少ししかありませんでした。大会式典は黒潮太鼓と雑賀衆の火縄銃の歓迎で開幕し、4500余名の全国からの参加者がありました。例年通り各県の紹介があり、岐阜県は116名の参加でしたが、順次紹介をされていった中では初めて100人を超えたので、大きなどよめきの中ライトを浴びてきました。各県の代表が30秒という時間制限のなかお国言葉で自己PRをし、ユニークなPR(徳島の踊って歌える建築士)や時間が足らなかつたり余りすぎたり、掛け合い漫才ありと飽きさせない趣向でした。

式典終了後にまた少し時間があったので、徒歩で和歌山市内を散策しました。今回時間の都合で申し込みが出来ませんでしたが、別のエキスカッションで旧繁華街のぶらくり丁見学があったのでそちらを少し見てこようと歩きました。(やっとこの頃に昨日のアルコールが消えたような気がしましたが…)メインの通りはけやき通りといい、元は市電が通っていたようで、大きなケヤキ並木が4重に並んでいました。和歌山市街は戦災で殆どが焼失しており、そのため道路が結構広く整然としています。しかし、街の中心に和歌山城を含む大きな公園があるせいでしょうか、並木はあっても歩いていて身近に緑が感じられるところが少なく、白っぽいイメージを持ちました。途中お団子やさんで茶菓子を少し購入後、中ぶらくり丁を通り老舗の駿河屋で土産を物色、ホテルまで約1時間強歩き回りました。長瀬さんは非常に健脚で、私はなんとか遅れずについていけたかな…?

---

## 女性委員会だより

---

3日目もエキスカージョンで「和歌山 明治・大正・昭和しい建物めぐり」に参加しましたが、案内をしてくださった和歌山建築士会の方が、大変詳しく説明をしてくださり、個人のお宅が多かったです。応接間や庭を快く見学させていただきました。昼食は普段は夜しか営業をしていない六三園でミニ懐石もいただき大満足の見学会でした。以下に簡単にコースと特徴を記しておきます。ただ、今日車窓からの見学だけになってしまった箇所を昨日に見学しておけばよかったと少し悔やまれました。(事前の調査は大切です)



嘉家作町屋： 堤防の斜面を利用して建てられた「懸作(かけつくり)」様式の建物で低い軒の1階部分と地下にもう1フロアがある。

西本ビル： 昭和2年建設、RC 造3階建て、空襲にも焼け残り、現在は当時の形のまま貸事務所等として利用されている。

和歌山県庁： 昭和13年、PC 造4階建て、軒先のテラコッタが美しい。耐震診断にも OK が出た富山県庁とまったく同様の建物。

滋野医院・滋野邸： 医院は大正10年建築の RC 造、自宅は昭和5年。医院の内部のしっくいのリリーフが美しい。

浜 医 院： 昭和26年進駐軍用のホテルとして建築、29年より医院として利用、1階 RC 造2階木造の看板建築。

島 村 邸： 昭和元年、木造2階建て、設備階を中2階部分に持つ

六 三 園： 相場市の元別邸、大正8年より10年くらいをかけ建設造営、当時の窓ガラスは1枚を除き現役。

郭 邸： 明治6年、住宅兼医院として建設、コロニアルスタイルの洋館。

朝間邸： 外壁に黒の玉石(那智石)をはめこみ、1枚の大きな緑泥岩を柱型部分や門柱に利用されているこだわりの建築。



今回「わかやま旅のパスポート」を屋台村で頂きましたが、入場料が団体料金になったり、みやげが5%引き、さらにディナーは20%も引いてもらい、主婦としては大変満足の旅となりました。



第47回 建築士会全国大会(和歌山大会)に参加して

長瀬 八州余

前日に台風23号の影響で、新大阪からの在来線は大幅な遅れがありましたが、ホームに着た電車に乗って、適当に乗り継ぎをして、だいたい予定していた時間に和歌山に着きました。JR和歌山駅からはシャトルバスに乗り会場に到着。偶然、岐阜県建築士会会長の土本氏とゲートでお会いしました。

受付をすませて、屋台村へ向かいます。各県の建築士会のブースだけでなく、NPOのブースも多くあり、いろいろなブースの方からお話を伺いました。

三重県建築士会津支部は6年間も継続して、1年間に1件、幼稚園・保育園に木製の遊具を作っていました。実費が約20万円ほどかかるため、どこでもできるというわけではなのですが、今では口コミで問い合わせがきているということです。材料の刻みまで行い、現地で組み立てるだけにして搬入します。年長の園児に工具の使い方の説明・練習を行い、一緒に作業をしているということでした。年長さんでもちゃんと説明して、練習させると金槌が使えるという事にびっくりしました。これからも継続して活動を続けていかれるということでした。

---

## 女性委員会だより

---

兵庫県建築士会青年委員会は、学校のゆとりの時間を利用して、6年生の一クラスの生徒一人一人(34名)に担当の建築士が一人付き、その子の将来の夢の住宅の平面図とパースを書いてパネルにして卒業記念としてプレゼントをしました。最初は建築について説明してほしいという要望で学校へ行って話をしていたのですが、2~3人の女子生徒が住宅の間取り図を書き始めて、そこから話が広がっていったということでした。「数回学校へおじゃまをして、生徒と話し合い、形にしていきました。大変だったけれども楽しかったです。また、建築に興味を持ち将来建築関係の仕事に就く子が一人でも生まれればうれしいです。」と話してくださいました。今回の一連の記録をCDにして皆さんに配布していました。頂いたCDを和歌山から帰ってきて見ましたが、楽しさが伝わってくるものでした。昔はコピーぐらいしか資料がなかったのに、今はこのようにデータをCDにいて皆さんに渡すことができるってすごいなあと感じました。



大阪府建築士会 高槻まちづくり協議会は障害者及び社会的弱者のためのトイレマップ作りと、公共トイレのユニバーサルデザインについて展示をしていました。もっとデータを集めて、冊子にする予定だということでした。調査方法は健常者だけでなく、車いす利用者等の人も一緒になり、実際に利用してもらい、使い方を検討して調査しているということでした。今までで一番感じたことは何ですかとお聞きしましたら、「各フロアごとに多目的トイレを作る場合、中途半端な同じ物を作るのではなく、特化した物を作った方が、利用者には使い勝手がいいようです。」と話してくださいました。話して頂いて、本当にそうだと思います。個々の体の状態によって、使い勝手は全く違う物になってしまいます。オストメイト用にはオストメイト対応のトイレが一番使い勝手がいいわけで、そのような特化したトイレがそのフロア

へ行けば利用できるということは大事なことだと改めて思いました。

その他多くのブースから、いろいろな情報が発信されていました。3時半になったので、女性委員会が主催する「クイズ知ってるつもり！」に参加しました。法隆寺の七不思議のうちの一つで五重の塔の宝輪にあるのが4本の鎌であることを初めて知りました。又古いJR奈良駅舎は解体移築ではなく、曳屋で移築した事も今回知りました。その他いろいろ初めて知ることが多くあり、楽しい時間でした。

「タベの集い」は岐阜県建築士会からは5名の参加がありました。次回開催の愛知県の方がお揃いの法被を着て精力的にアピールして動いていました。

2日目の22日(金)は半日のエキスカーションで養翠園等を見学して、昼から式典に参加しました。

ホテルまでの帰路は和歌山市内をブラブラと歩きながら市内散策をして帰りました。市内の街路には緑が多く、落ち着いた街だと感じました。

3日目の23日(土)は一日のエキスカーションで「和歌山明治・大正・昭和たてももの巡り」に参加して、和歌山市内を案内していただきました。旅行ガイドブックにはまず載っていないであろう場所ばかりで、細い路地を入り、見学をしました。紀州は海運が盛んな頃は交通の要であったので、お金持ちが多く、明治・大正時代の洋館が多く残っています。資料館等になっているのではなく、いまだに現役で使われています。維持管理が大変だろうと思われませんが、愛情を持って使われているようで、きれいな状態の物が多かったです。

初めて参加させていただいた全国大会は、お天気にも恵まれ、有意義な楽しい三日間でした。



## 女性委員会だより

### ■「気楽にらくだ会」

第4回女性建築士の集いの報告

津川 文江

日時 12月11日(土)13:00~16:30

場所:TOTO 岐阜ショールーム

13:30~15:00 セミナー パブリックトイレについて

講師:TOTO 名古屋支社 プレゼンテーション課長 遠藤 護

15:30~16:30 交流会

年末のお忙しい中ご出席有り難うございました。

セミナーには、19名の参加(男性3名)で、パブリックトイレを利用する高齢者や障害者のトイレ内での行動を身体状況によって全く異なる行為の具体例をビデオにより紹介していただきました。また、交流会には、14名の参加があり、お茶とケーキで、トイレについておしゃべりをしました。参考になるお話も盛り沢山でした。



TOTOショールームにて

堀 暁美

実例(ビデオ)による様々な障害者の方のトイレの使用方法的な説明をいただき、本当に使い易いトイレとは?だれもが使い易いトイレとは?分かっていたつもりでしたが、知らないことが多くあることに気づきました。

又いろいろなユニバーサルデザインの実例も見せていただき大変参考になりました。

「らくだ会」お疲れ様でした。

長瀬 八州余

すごく為になりました。本からの知識しかなかったのが、あの様に映像で見ると、よく分かります。パンフレットも良い資料が手に入って良かったと思いました。ブロック事業発表では担当物件のコメントも少し変わる(かな?)と思います。

『トイレは汚いモノ?』

飯田美咲

「便座と自分の手、なめるとしたら?」という講師の方の問いかけに、「もちろん手です。」と参加者の返答。「雑菌の数から言えば人間の手の方があきらかに多いのですよ。」今回のらくだ会でのやりとりです。清潔で快適なトイレが求められている今日でも、私の中で“トイレ=不潔”というイメージがまだまだあります。「人はキレイなトイレなら、キレイに使い、そうでないトイレであれば、汚くしても構わないと思う。キレイに保ってもらえるトイレ(空間)をつくる。設計者の腕の見せどころです」という講師の方の言葉が胸に残る、有意義な会でした。



西村 憲絵

今回の『集い』の<トイレセミナー>の内容は、目から鱗でした。身障者用のトイレは、車椅子の方だけが利用するだけだと思っていましたが、実はもっと別の障害を持っている方や普通のお子さんを連れた方も利用する多目的ルームである事に改めて気づきました。

しかし、現状のトイレは入口を開けると中が丸見えだったり、室内の色は真っ白く、入ると室温が低い、又便座も冷たかったりとまだまだ快適とは言えません。設計する立場から、只単にトイレを設けるのではなく利用者の立場にたった、また利用したくなる様な設計を心掛けていかなければと責任の重さを感じました。

## 女性委員会だより

### ■ 新企画「わが家のレシピ」

今回より、新しい企画としまして、日頃忙しく家事をこなしていらっしゃる皆さんから、我が家のおきのおきの献立を教えていただくということになりました。

「簡単クッキング」「自慢クッキング」何でもいいんです。皆さんどんどん発表してください。

では、初回は、大上さんです。



新企画「おかずレシピ」ということで、第1号のご指名にあずかってしまいました。リレー形式でみなさんにバトンが渡るということで、次の方が書きやすいように我が家の粗食を御紹介しようかと思ったのですが、年末年始を控えたこの時期、それもなかりうと思ひ、ちょっと気取った(?)メニューを紹介することにしました。

クリスマス～年末～年始、と来客の多い我が家。キッチンにこもって黙々と料理をするのは寂しいので、来客時の料理は「あらかじめ作っておけるもの」または「下ごしらえをしておけばあつという間にできるもの」または「オーブンに入れっぱなしでできるもの」がメインになります。手抜きメニューはいくつかあるのですが、その中で今回はクリスマスか年越しに必ず作る「チキンのディアボラ(超手抜きバージョン)」と「魚の塩釜」を御紹介します。

### ★★チキンのディアボラ(超手抜きバージョン)★★

もとはいわゆる「チキンの小悪魔風」という料理だったと思いますが、簡単にアレンジしています。



#### <材料(適当でゴメンナサイ)>

- とりのもも肉 2～3まい
- ローズマリー(我が家の庭にもじゃもじゃのローズマリーが生えているので適当にむしって使っていますが、乾燥のもので十分です)細かく刻んで2つまみぐらい
- 黒粒こしょう 粒のままのものがあると香りが良いです。なければ荒引きのものでも良いです。我が家は子供が小さいので粒のものを少なめに荒くつぶして使っています。お好みでスプーン1杯ぐらい
- 塩 ふたつまみぐらい
- レモンの絞り汁 1/4個分ぐらい
- EX オリーブオイル EXでなくても良いですが、断然香りが違います！1/2カップぐらい

#### <作り方>

- ①オリーブオイルととり肉以外の材料をよ～くまぜ、オリーブオイルをすこしづつ入れてまぜます。
- ② とり肉は皮をやぶらないように皮と身の間にある黄色い脂肪を取ります。キッチン紙を使うと簡単です。気にならない方はそのままでも良いと思いますが、取った方がパリッとさっぱり仕上がります。
- ③ ①をとり肉の表裏に塗り、1～2時間冷蔵庫で寝かせます。時々上下を返して下さい。  
・④とり肉の皮に塩を少し振り、皮を下にしてオーブン皿に並べて、残った汁をかけて180度位のオーブンで15～20分位焼きます。ひっくり返して皿の焼き汁をかけて、さらに20分位、皮がパリッときれいな色になるまで焼きます。  
2cm 位にカットして盛り付けます。

---

## 女性委員会だより

---

### ★★魚の塩釜★★

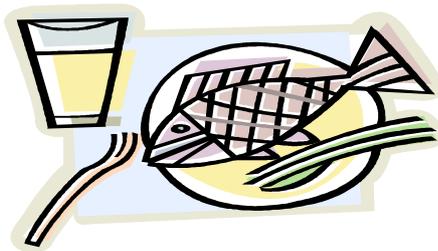
お店ではあら塩だけで釜をつくるようですが、シロウトはそんなことできないので（というより塩がもったいない！）卵白を使います。とっても簡単ですが、食卓に出すとゲストが「おお〜っ」と言ってくれます。ゲストの前で釜を割ってえらそ〜うに取り分けるのが我が家では夫の仕事です。

#### <材料>

- 魚（スズキ、タイ、イサキなどの白身で身のしっかりした魚が向いているようです）400g位のもの（魚の大きさに合わせて適当に分量を調節してください）
- 卵白3コ分
- 粗塩1/2カップ
- ローズマリー 1枝くらい

#### <作り方>

- ・ 魚は魚屋さんでウロコと内蔵を取ってもらい、お腹にローズマリーを挟む
- ・ 卵白はツノが立つくらい混ぜ、粗塩をさっくりまぜる（泡をこわさないように）
- ・ オープンの天板に・を魚の大きさ分敷き、魚を乗せて、魚が隠れるように残りを塗る
- ・ 200度のオープンで、魚が400gなら40分位（250gなら25分、1kg以上なら1時間以上）焼く。焼き上がりは竹串などを差してみても、唇にあて、熱ければOKです。



（手作りののぼりがある建物調査風景）

### ■ 編集後記

今年は暖かな年の瀬となりました。一年があっという間に過ぎた感じですが、皆さんこの一年はいかがでしたでしょうか？未だに景気の回復を肌で感じられずにいる私ですが、健康で過ごせたことで良しとしようと思っております。

遅くなりましたが「らくだ Vol. 83」をお届けします。年末の大掃除に捨てたりしないで、お正月にゆっくりと読んでください。

委員会では、より充実した内容となるよう皆さんからの投稿をお待ちしております。ご意見・投稿・新企画のご提案などがございましたら下記へお問い合わせください。

編集委員 宇佐美 泉  
河内美代子



(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL058-266-5786 FAX058-266-6867

<http://homepage2.nifty.com/aba-gifu/>

メールアドレス: [kensi578@juno.ocn.ne.jp](mailto:kensi578@juno.ocn.ne.jp)

※ 女性委員会担当まで宜しくお願いします。